

⑩ 日本人の暮らしは 地球 2.3 個分？

世界中の人が、日本人と同じような暮らしをすると、地球は何個必要でしょう？ エネルギーや資源の消費量から計算すると、2.3 個必要という研究結果がでています。つまり、半分以上の人が、地球以外の星に移り住まなければならないのです！ これでは、持続可能ではありません。 ※WWF ジャパン「日本のエコロジカル・フットプリント報告書 2012」より

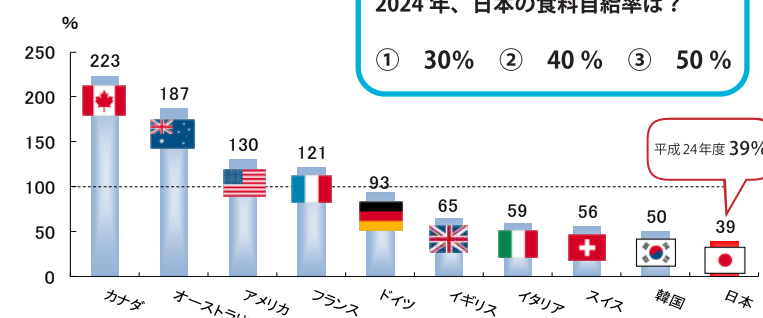


【大予測 10】2024 年ごろの日本人の暮らしは、地球何個分？
① 1 コ ② 2 コ ③ 3 コ

⑧ 食料自給率 目指せ！ 自給自足

日本の食料自給率（カロリーベース）は、1965 年に 73%だったものが、最近 40%くらいになってしまいました。ちなみに、世界の先進国と比べても、とても低い状況です。

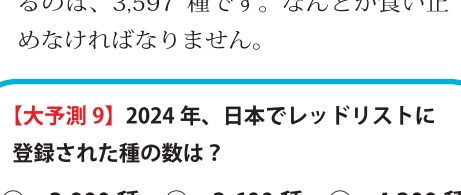
【大予測 8】2024 年、日本の食料自給率は？
① 30% ② 40% ③ 50%



⑨ 生物多様性 このままでは、いつか 人間も絶滅？

世界で確認されている生物の種は約 175 万種（まだ知られていない生物も入れると 500 万～3,000 万種）で、日本で確認されている生物は約 9 万種と言われます。このうち、日本で、絶滅のおそれがあるとしてレッドリストに登録されているのは、3,597 種です。なんとか食い止めなければなりません。

【大予測 9】2024 年、日本でレッドリストに登録された種の数は？
① 3,000 種 ② 3,600 種 ③ 4,200 種



《創刊特別企画》 2024 年 環境大予測！

家族で、仲間で、職場で、学校で、参加しませんか！

様々なものが、日々、劇的に変化する世の中。変わらぬもの、変わってほしくないものもあれば、もっと良くなってほしいものもたくさんあります。そこで、環境問題を考える上で重要な指標を 10 コ選んでみました。それぞれについて、10 年後の 2024 年にはどうなっているのか？ みなさんと一緒に占う、大予測プロジェクト！

予測にあたって

各指標について、最新の動向やデータなどを提示しています。ほとんどの指標は、日本の値ですが、京都市（びっくり！エコの活動拠点）を対象としたものもあります。【公式予測／目標】（行政や研究機関などが出した推定や目標）なども参考に、10 年後どうなっているか、選択肢の中で最も近いと思うものを予測してみてください。（一部、自分で解答を考えるものもあります）今は、誰も、正解はわかりません！

参加プレゼントの受け取り／抽選への参加

- 予測に参加いただいた方は、
【A】参加プレゼントの受け取り
【B】プレゼント抽選への参加
【C】30 名程度以上の団体で参加していただいた場合

特別プレゼント
の受け取りが可能です

【A】や【C】でプレゼントを受け取れた場合でも【B】の抽選にご参加頂けます。



【A】2014 年 3 月 10 日～12 日 10:00～16:00 に、京都大学時計台 1F (建物に入って正面に看板を出す予定) にお越しいただき、そこで提出いただければ、エコ文具・エコバッグ・エコ絵葉書セット・エコキャラクターなどをプレゼント！

【B】応募者には、今号のプレゼントコーナーの抽選に参加していただけます。予測への参加時に、今号のプレゼントとして紹介している商品のうち、希望される物の番号をお書きください。

【C】特別プレゼント「びっくり！エコチームパック」（1 団体 1 パック）を先着 50 団体にプレゼントします。次号発送時か、それまでにお届けします。

★10 年後、最も近い予測をされた方の「夢」をかなえます！ただし、その時点での「夢」の変更はできません。また、関係者にて、全力で夢の実現を目指しますが、内容や力不足で難しい場合、夢の目的を考え、より近い形での実現を目指しますので、あらかじめご了承ください。なお、予算や能力に余裕があった場合、上位 1 名に加えて、数名の夢もかなえます。

※おひとり、1 回の予測のみとさせていただきます。重複があった場合は、後の方を無効とさせていただきます。

10 年後、最も近い予測をされた方の「夢」をかなえます！

団体参加者には 特別プレゼント
個人参加者にもチャンスあり！

【例】世遺産を訪ねたい！大学で環境について学びたい！など
※概ね 100 万円以内の「もの」や「こと」を考えてください

予測への参加 10 コの予測結果や
10 年後かなえたい夢などを書いて、提出

参加プレゼントの受け取り／抽選への参加

各指標について学ぶ；次号以降、順に各指標にクローズアップしていきます。また、予測の集計結果などもご紹介します。

2024 年、いよいよ実際の結果が明らかに！
結果を発表すると同時に、大予測成功者も発表！
※上位の方の夢をかなえます

予測への参加方法【2014 年 3 月末まで】

30 名程度（以上）の団体の場合

団体向けプレゼント（びっくり！エコチームパック）がありますので、まとめて郵送するか、3 月 10 日～12 日（後述）にご持参ください。ただし、予測については、あくまでお一人ずつお書きください（原則として自筆で願います）。団体窓口の連絡先もお忘れなく。

個人や少人数の場合

個別でいただいても、まとめて送付していただいても結構です。郵送・FAX・メール・ハガキにて受付致します。

次を、読み取りやすいように、はっきりとお書きください

- 【1】お名前（公開する際にペンネームが良い場合は、ペンネーム）
【2】所属
【3】年齢（学生の場合は、学年も）
【4】住所
【5】電話番号
【6】メールアドレス
【7】予測結果の通知等をメールに送って良いか？
【8】プレゼント抽選に参加する場合、希望するプレゼント番号
【9】10 コの予測結果
（例：①1 ②京都府③4 ②1 ⑥3 ⑦3 ⑧1 ⑨2 ⑩1）
【10】10 年後にかなえたい「夢」

※なお、これらの情報は、集計と本件に関する連絡以外では使いません。

① 日本の人口 ほんとにぐんぐん減っちゃうの？！

図 1-1 日本の総人口及び人口増加率 (1872～2010 年)

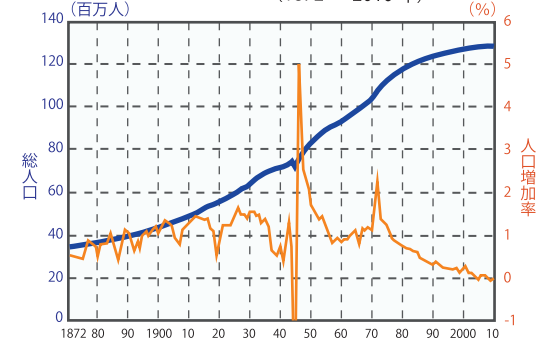
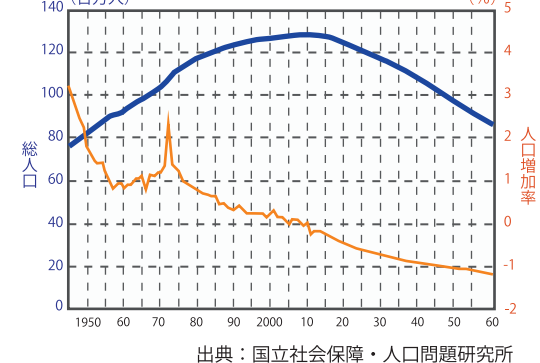


図 1-2 日本の総人口及び人口増加率の将来推計 (1947～2060 年)



こうして見ると、日本の人口はここ 150 年で、ぐんぐん増えてきました。2013 年は 1 億 2,779 万人です。ちなみに、京都市の人口は、147 万人ですので、日本人のほぼ 1% にあたります。ちなみにちなみに、世界の人口は 72 億人ですので、56 人に 1 人は日本人ということになります。

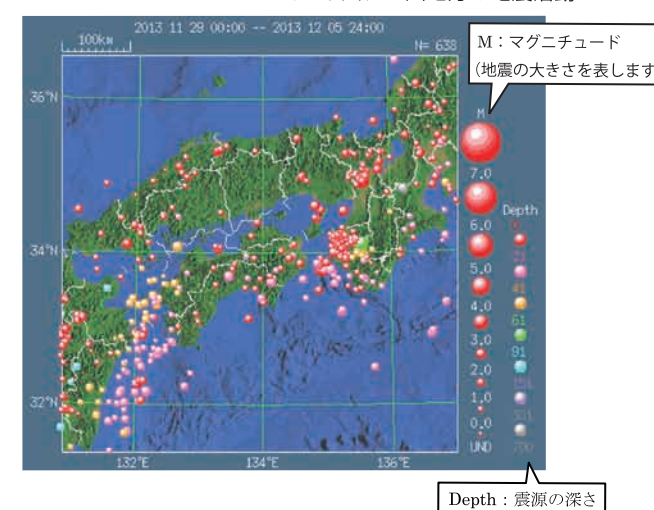
【公式予測】

2010 年くらいをピークにぐんぐん減るかと考えられています（図 1-2）。2025 年には約 1 億 2,000 万人になり、2050 年までに 1 億人以下になるとか！

【大予測 1】2024 年日本の人口は？
① 1 億 2,000 万人
② 1 億 2,300 万人
③ 1 億 2,500 万人

② 大地の変動 活動期に入った？！

図 2 2013 年 11 月 29 日～12 月 5 日の 1 週間の近畿、中国、四国地方の地震活動



東日本大震災の次には、南海トラフ地震や首都直下地震が続くと言われます。まさに、日本列島は活動期に入ったようです。関西圏も例外ではありません。2013 年 11 月 29 日～12 月 5 日の 1 週間の近畿、中国、四国地方の地震活動を見ると、こんなに揺れているのですね！

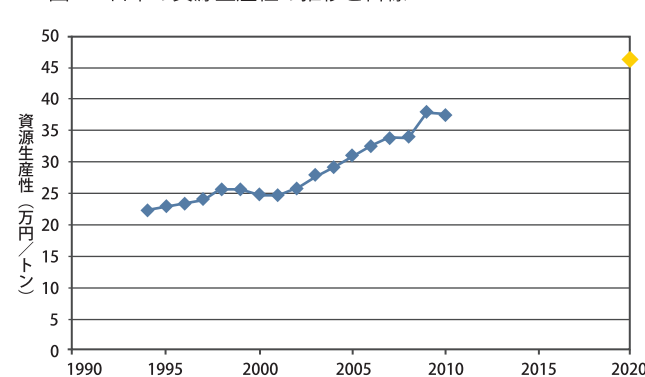
【大予測 2】2024 年までに、この地図に示された範囲で、最も大きな規模（M）の地震が来る府県は？ 具体的な府県名を書いてください。

⑦ 資源生産性

少しの資源・エネルギーで、高い商品を作ることができると、エコです。資源 1 トンで、何万円の経済活動が行われたか（資源生産性と言われます）を示したのが図 7 です。ここ 15 年で資源生産性はぐっと向上しています。なお、2020 年の目標は 46 万円／トンです。

【大予測 7】2024 年、日本の資源生産性は？
① 42 万円／トン
② 46 万円／トン
③ 50 万円／トン

図 7 日本の資源生産性の推移と目標



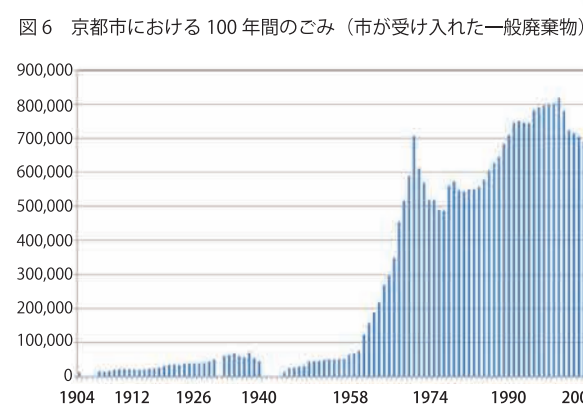
（出典）環境省 第三次循環基本計画

⑥ ごみ半減は 実現するか？

ごみには、工場などから出る「産業廃棄物」と、家庭やオフィスなどから出る「一般廃棄物」があります。その一般廃棄物は、市町村が責任を持って処理をしています。図 6 を見ると、この 100 年間で「一般廃棄物」の量が大きく変化したことがわかります。ちなみに、日本人 1 人が 1 日に出す「一般廃棄物」は約 980g で、京都市民は約 900g（そのうち家庭からが半分くらい）です。

【目標】

京都市の目標は、2020 年に 750g にするというもの！ 京都市民のみならず、頑張らしよう！



（出典）京都市

【大予測 6】2024 年、日本の一般廃棄物の量（1 日 1 人あたり）は？
① 980g ② 880g ③ 780g

⑤ 次世代自動車 普及率

最近、ハイブリッド車や電気自動車の開発や販売が進められています。このような車は、ガソリンなどの化石燃料の使用を大幅に減らすため、エコカーや次世代自動車などと言われます。

【大予測 5】2024 年、日本の次世代自動車（保有台数）の割合は？
① 20% ② 40% ③ 60%

【目標】

国などの目標は、2020 年に 20～50% にするというものです。ちなみに現在は約 2% です。

日本全体でのエネルギー消費量は、約 50 年で 3 倍以上になりました。そのエネルギー源は、石炭や石油、天然ガスなどです。最近「新エネルギー・地熱等」の割合も少しずつ増えて、2010 年は 3.7% でした。ここに太陽光や風力発電等の再生可能エネルギーが入っています。

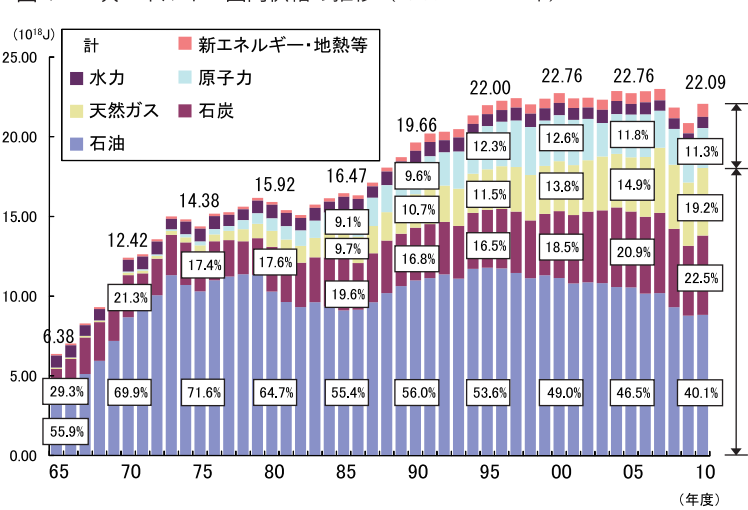
【大予測 4】2024 年、日本の新エネルギー・地熱等の割合は？
① 4% ② 10% ③ 20%

【目標】

京都市では、再生可能エネルギーの割合について、2010 年に 0.6% のところを 2020 年には、2.3% にする目標を検討しています。小さな割合に見えますが、今の 3 倍以上にしなければ！
※京都市エネルギー政策推進のための戦略（骨子案）（2013 年）より

④ 再生可能エネルギーでどこまで頑張れる？

図 4 一次エネルギー国内供給の推移 (1965～2010 年)

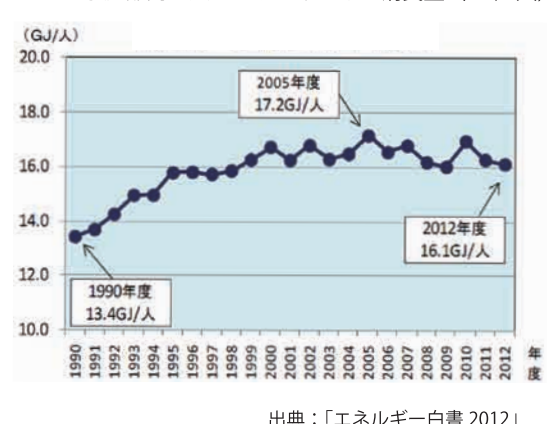


出典：経済産業省「エネルギー需給実績」

※2011 年の東日本大震災の後、原子力発電の割合は減っています。

③ 家庭でのエネルギー使用量 どこまで省エネできる？

図 3 家庭部門一人あたりエネルギー消費量（GJ／人）



家庭での一人あたりのエネルギー使用量は、1990 年から比べると約 2 割増えて、16.1 GJ になりました。ちなみに、京都市民は、2010 年に 15.8 GJ でしたので、全国平均よりは少しだけ省エネです。

【大予測 3】2024 年、日本の家庭部門一人あたりのエネルギー消費量は？
① 13GJ ② 16GJ ③ 20GJ